

# 一般質問

※ 議長（片渕卓三）、監査委員（篠田一彦）は、慣例により一般質問を控えています。



市原 誠二 議員



◀QRコード  
(動画配信)

**Q** 公平で混乱のないワクチン接種予約方法の採用を！

**A** 市民の皆様の混乱を少しでも減らせるよう取り組んでいく

**Q** 公平で混乱のない予約方法について伺う。

**A** ワクチン接種推進室長 年代別に予約時期をずらすなど混乱がないよう取り組んでいく。

**Q** 目標を絞り尾張旭市の宣伝、広報、営業活動を行うべき

**A** 本市PR動画を特定範囲に広告し、予想を上回る閲覧数を獲得できた

**Q** 定住先を決めるタイミングにある市内の幼稚園・保育園にお子さんを通わせている親御さんにターゲットを絞り、尾張旭市を重点的にPRすべきと考えるのがいかがか。

**A** 企画部長 やみくもに情報を発信するだけでなく、費用対効果を考える必要がある。

**A** 企画課長 興味深い提案であり、今後の方策の一つとして検討する。

**Q** 市は中小事業者の産学、企業連携を支援すべき

**A** 事業者支援の検討に向け産業振興基礎調査を実施しニーズを把握する

**Q** 中小事業者の新事業立ち上げの後押しのために、市が産学、企業間連携を経費面で支援することについて伺う。

**A** 市民生活部長 連携支援は有意義と考える。現在、既存事業者支援の検討のために調査を行っており、市内事業者の状況に合った支援策を検討していく。

**Q** フードバンクへの支援強化を求める！

**A** 要請があれば緊急募集など対応に努めたい

**Q** フードドライブの通年実施について伺う。

**A** 健康福祉部長 通年実施の考えはないが、食品寄附などの要請があれば社会福祉協議会と連携して緊急募集など対応に努めたい。



芦原美佳子 議員



◀QRコード  
(動画配信)

**Q** 病気や障がいのある家族の介護や世話を担う18歳未満の子ども「ヤングケアラー」の支援について

**A** 教育委員会との協力や、介護・医療等の公的制度を始めとした社会資源を活用し、サポートしていく必要がある

**Q** 本市の実態把握について

**A** こども子育て部長 子どもの人権を擁護するという視点で、要保護児童対策地域連携会議を中心に、構成部署と協力し、支援が必要な子どもや家庭の把握に努めている。

**Q** ヤングケアラーの早期発見に向けて、認知度を高めるため

の啓発や理解を深める研修、相談体制の構築が必要と考えるが、早期発見の取組について伺う。

**A** 子どもたちへの啓発方法の検討や、関係者間での認識を改めて共有するとともに、介護や障がい福祉関係者、民生委員・児童委員等にも、周知・協力の依頼を行いたい。



**Q** コロナ禍における「外部講師を活用したがん教育」のオンライン実施について

**A** 講師との調整の中でオンラインでの実施も方法の一つとして提案していきたい

**Q** 新学習指導要領に基づく中学校でのがん教育の変更点やポイントは？

**A** 教育長 中学校2年生では、生活習慣病などの予防の中に「がんの予防」が明記され、がんについて理解するとともに、予防の大切さや健診の重要性等について詳しく学習する。

**Q** 外部講師を活用したがん教育の更なる推進について

**A** がん教育の目標での「正しい理解」や「命の大切さ」の育成について、がんの専門医やがん経験者などの外部講師との連携は重要で効果的なことから、機会があれば必要に応じ実施したい。

その他の質問項目

○水洗化率向上に向けて

## 一般質問



谷口 武司 議員



◀QRコード  
(動画配信)

**Q** 2050年カーボンニュートラルに向けて本市に必要な計画は？

**A** 環境基本計画と地球温暖化対策実行計画（事務事業編）がある

【市としての取組】

**Q** 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）策定も必要では？

**A** 環境課長 市民や事業者への取組も示していくものであるため慎重に検討する。

**Q** 水素ステーション誘致について

**A** 市民生活部長 設置情報があれば県と連携して進める。

この項目のその他の質問項目

- ・L A P S Sの導入について
- ・先駆的な取組について
- B D F精製装置について
- 木質バイオマス発電燃料製造装置について
- 農産物の地産地消によるカーボンニュートラルについて

**Q** CO<sub>2</sub>・CO<sub>2</sub>ダイエットプラン事業とは？

**A** 環境にやさしい生活「エコライフ」を自宅で気軽に取り組めるようにした事業である

【市民と取り組む事業】

**Q** 項目の増設は？

**A** 市民生活部長 もっと気軽に、継続して取り組めるよう内容などを検討していく。

**Q** 本市のリサイクル率は？

**A** 令和元年度は20.9%である。

**Q** リサイクル率80%台の団体と差はどこで生まれているか？

**A** 環境課長 生ごみ等を堆肥化せず処分していることが大きく異なる。

**Q** 資源ごみ回収量の推移は？

**A** 市民生活部長 ペットボトルや小型家電等は増加しているが、市・資源回収団体とも新聞や雑誌の減少に伴い減少傾向である。

**Q** 廃食用油の収集について

**A** 可能な限りリサイクルひろばに持ち込んでいただくよう周知していく。

この項目のその他の質問項目

・焼却処分されるごみの減容化について

生ごみ処理機の購入助成金等について

・E V・燃料電池車の普及促進について

・Z E H住宅の普及促進について



秋田さとし 議員



◀QRコード  
(動画配信)

**Q** 情報の多様性について

**A** 令和3年4月より広報広聴課と情報政策課を企画部に新たに設置した

**Q** 広報おわりあさひをリニューアルした意図について



**A** 広報広聴課長 3年ごとにリニューアルしている。全世代の方に分かりやすく、親しみやすくなるよう、各種コーナーのデザイン等を変更した。

**Q** コロナ禍の市の財政について

**A** 昨年度と比較して市民税、固定資産税、都市計画税合わせて約1.3%減

**Q** ふるさと納税について伺う。

**A** 総務部長 ふるさと納税の返礼品は半年で19種類から48種類に拡充し従来よりも高額の寄附額も設定した。

**Q** クラウドファンディングについて伺う。

**A** 昨年、初めて「新型コロナウイルス感染症対策寄附金」をクラウドファンディングで募集し、目標金額を上回った。

**Q** 今後も活用するのか。

**A** 財政課長 今後も単発のイベントなどを中心に、積極的に活用していきたい。

**Q** コロナ禍における健康診査の状況について

**A** 各種がん検診、後期高齢者医療健康診査等の受診率は減少している

**Q** がん検診者を増やすための対策について伺う。

**A** 健康課主幹 今年度も8月実施、一部のがん検診は、11月も実施。健康診査受診券をはがきからA4判サイズに変更した。

## 一般質問



安田 吉宏 議員



◀QRコード  
(動画配信)

### Q コロナ禍における救急出動回数は？

① 急な病気、交通事故による救急出動が減少

【コロナ禍における救急出動等について】

Q コロナ禍において、救急出動における新たな対策は？

① 消防長 通常装備の感染防止衣の上着、N95マスク、手袋に加え、感染防止衣のズボン、ゴーグルを追加し、感染防止対策の強化をしている。

Q 大変になったことは？

① 消防次長兼消防署長 感染防止衣は、通気性がないので、夏場には体力の消耗が激しくな

る。春先から体力錬成をするなど様々な対策をしている。

この項目のその他の質問項目

- ・救急隊の資器材棚卸しについて
- ・救急隊のワクチン接種について



### Q 小学校の夏休みの学校プール開放は？

① 令和元年から全小学校で実施しないこととした

Q 水泳の授業の必要性は？

① 教育長 自分の身を守る術を学ぶ観点から大切な学習であり、小学校5年生で消防署の方や外部講師を招き、着衣泳を

行っている。

Q 学校プールの大規模改修は？

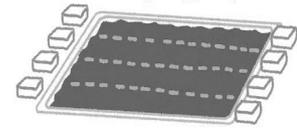
① 教育部長 次は本地原小学校を予定。今後、建築後の年数が経過していることから、建て替えも視野に入れる必要がある。

Q 今後の学校プールについての考えは？

① 学校プールの在り方の検討が必要であり、民間プールの活用、いくつかの学校を集約する方法、市民プールを活用する方法、指導上での民間委託など、検討をしていく。

この項目のその他の質問項目

- ・小中学校の水泳授業について
- 水泳の授業時間について
- 天候による影響について
- 水泳の指導方法について



早川 八郎 議員



◀QRコード  
(動画配信)

### Q コロナ禍の難局だからこそ、未来のための準備や行動をすべきでは？

① 組織変更をし、デジタル化などに関する部署や各部に政策課を設置した

【コロナウイルス感染症という時代背景を将来に生かすことについて】

Q 震災、戦争など過去の大変な時代を先人の方たちは、乗り切ってきた。その経験や知識を生かしてきたことが、今の日本の力になっていると思う。「たこが一番高く上がるのは、風に向かっているときである。風に流されているときではない。」

という言葉があるように、今だからこそ、未来の尾張旭市が高く上がる準備や行動をするべきではないか？



① 企画部長 今回の「感染拡大」という未曾有の事態の中、これまで「当たり前」と考えられていた行政運営の在り方に、課題が見いだされた。まずは、今年4月にデジタル化や市政発信に関する部署を整備するとともに、各部に政策課を設置。こうした取組は、緒に就いたばかりなので、今後も様々な準備や行動を継続していきたい。



Q まだまだ続くと思われるこ

の難局を健康都市のリーダーとして、尾張旭市独自の対応や施策を外部へ発信しているのか？

① 健康都市の理事市である本市への各地からの期待は大きい。昨年10月、韓国での健康都市連合国際フォーラムがオンラインで開催され、本市独自のコロナウイルス感染症に対する取組を発表した。また、今年3月には、台湾の公的団体より国際フォーラムの参加打診があり、ここでも発表の機会を得た。今後も独自の取組を世界に発信していきたい。

その他の質問項目

- 公共施設のWi-Fi環境について
- GIGAスクール構想の健康問題について
- 必要とされているという実感について

## 一般質問



松原たかし 議員



◀QRコード  
(動画配信)

### Q スマートフォンアプリの活用について

4月から運用開始した防災アプリは、市からの情報配信に加え、避難所までのルート検索等ができる

Q 道路等の破損状況等を把握するためにも市民通報アプリが有効と考えるが、導入の考えを伺う。

A 都市整備部長 スマートフォンを利用する手軽さに加え、位置情報や写真提供により、状況を迅速に把握できる有効なツールであると認識してい

る。他の行政手続のオンライン化と併せ、庁内で連携・協力しながら、組織横断的に検討する。



### Q 労災病院西交差点整備の事業スケジュールについて

A 道路線形を確定し、「詳細設計」、「工事の施工」と順に進める

Q 事業の進捗状況について伺う。

A 都市整備部長 交差点改良設計について、公安委員会と協議を実施し、その過程で多くの関係機関と調整・協議が必要となった。本年度はそうした調整・協議に注力する。

### Q 宅地開発におけるごみ集積所の設置を義務化できないか

A 現在目安にしている世帯数に応じた設置数を、「宅地開発等指導要綱の整備基準」に明記し、改善を図りたい

Q 近隣住民の不安を取り除くための説明会開催について伺う。

A 都市整備部長 「宅地開発等指導要綱」では、説明会の開催を義務付けていないが、近隣住民の理解を得る手法の一つとして、事業者が説明会を実施する場合もある。



陣矢 幸司 議員



◀QRコード  
(動画配信)

### Q 避難所での電源確保について

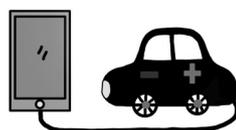
A 災害時における給電車両の貸与に関する協定の締結に向け、事務を進めていきたいと考える

Q 避難所での電源の必要性について

A 総務部長 近年は生活様式も変化し、スマートフォンの充電のための電源が求められるようになってきている。最近の事例では、停電時に充電先を求めて避難所を訪れる方も多いようである。

Q 他市の給電車両貸与に関する協定について

A 危機管理課長 災害時に電気自動車の貸与を受け、避難所の円滑な運営と市民の安全を守るために活用すること、平常時も電気自動車をイベントなどで活用することにより、普及促進を図るとともに市民の環境・防災意識の向上を目指すなどといった内容となっている。



### Q 特殊詐欺について

A 令和3年は5月末現在で、既に15件発生しており、守山警察署と連携して、注意を呼び掛けている

Q 防犯対策の具体的な施策について

A 市民生活部長 地域防犯パトロール隊による巡回やスクールガードによる見守り活動、かけこみ110番の家への登録、防犯灯や防犯カメラの設置など、地域の皆様と共に取り組んでいる。

Q 本市の防犯カメラ設置についての考え方を伺う。

A 自治会・町内会などの公共的団体が設置する防犯カメラについては、防犯カメラ自体に、犯罪抑止の効果があるとともに、設置に至るまでに、地域で検討された過程が、地域の防犯意識の高揚につながり、さらには、犯罪のないまちづくりにつながるものと考えている。



## 一般質問



川村つよし 議員



◀QRコード  
(動画配信)

**Q** 神戸市のヤングケアラー支援マニュアル活用について伺う

**A** 紹介のあった先進事例なども参考にできればと思う

**Q** 7年前にも問題を市議会で紹介したが、ヤングケアラーについて国の大規模調査結果が4月に公表されるなど、ようやく取組が始まり問題意識を共有することが容易になった。

神戸市は先進的な取組を行っているが、約3年前、若い介護者が認知症の祖母を殺害してしまった事件がきっかけだった。

「神戸市 子ども・若者ケア

ラー支援マニュアル」は分かりやすい内容になっていると思う。

手始めに、この資料を活用し、気付きを促す、人材育成を進めることは着手できるのではないか。

**A** 子ども子育て部長 今後、支援者となり得る周りの大人が「ヤングケアラー」への認識を深めることができるよう、取組を進めたいと考えている。国の動向や、議員から紹介のあった先進事例も参考にできればと思う。

**Q** 補聴器の購入補助制度を実施する考えはないか

**A** 現時点では補助制度を設ける考えはない

**Q** 認知症の発症要因の一つに難聴が挙げられている。認知症

になると医療や介護など高額な負担が生じる。認知症の発症を防ぐ上で補聴器の装着は有効だと考える。補聴器の購入に際し、補助制度を設けている自治体の補助内容は、一人一回限り、上限2万円など、内容的には、購入を検討している方の背中を押す程度のものだ。

2万円で医療や介護、家族の負担が少しでも緩和できるのであれば安いものではないか。補助制度を実施する考えはないか。

**A** 健康福祉部長 難聴は、高血圧や糖尿病と並ぶ認知症の危険因子とされている。国は、難聴などの危険因子に対する予防介入研究を進めているところで、現時点では、高齢者の補聴器購入に対する補助制度を設ける考えは持ち合わせていない。



花井 守行 議員



◀QRコード  
(動画配信)

**Q** 精神にしょうがいや病気のある方を24時間365日の体制で支援できる仕組みについて

**A** 虐待等の緊急時には、夜間や休日でも市役所の宿直室から福祉課担当職員に連絡ができる体制がある

【幻覚や幻聴に悩まされたり、夜眠れなかったりと大変な思いをされている市民の方への支援の仕組みについて】

**Q** 精神しょうがいの種類について伺う。

**A** 健康福祉部長 精神疾患はWHOの分類では、統合失調症

や神経症性障害、ストレス関連障害など大きく10分類、さらに細かく78分類に分かれている。

**Q** 特徴について伺う。

**A** 共通していることは外見からは見えにくい疾患で、そのため日常生活や社会生活をする上での生きづらさや困難さが理解されにくく、社会から孤立してしまうことがある。

**Q** 若者で多く発症するという、パニックしょうがいの特徴について伺う。

**A** パニック障害は不安障害の一つで、三大症状として、突然理由もなしに強い不安とともに動悸や発汗、手足の震えといった症状が起こる「パニック発作」、パニック発作が起こるのではないかと恐れる「予期不安」、発作が起こりそうな場所や状況を避ける「回避行動」がある。過労、ストレスなど環境

や心身の不調がパニック発作の引き金となる要因として考えられている。

**Q** ぼんやり死にたいという状態の「希死念慮」を持たれている方を支えていくためにどうしたらいいか、現状の対策について伺う。

**A** 福祉政策課長 自殺対策に関する取組として、相談事業で毎週水曜に保健福祉センターで精神保健福祉士による「こころの健康相談」を実施している。

**Q** 地域生活支援拠点等について伺う。

**A** 健康福祉部長 相談については、障がい者基幹相談支援センターを中心に行い、令和元年度は約8千件のうち約7割が精神障害に関する相談。緊急時の受入れについては、緊急時居室確保・支援員確保事業を今年度から開始している。

## 一般質問



丸山 幸子 議員



◀QRコード  
(動画配信)

### Q いじめ・不登校対策と相談体制の強化について

常に検討し、教員、スクールカウンセラーなどの特性を生かしていく

Q 不登校児童・生徒数は、一昨年度から昨年度にかけて約30%増加しているが、その要因は？

A 管理指導主事 社会情勢や家庭環境の変化により不安感や無力感を感じるのだと考える。

Q 教育研究室内の相談体制の強化について伺う。

A 教育長 今年度、相談日数を25日分増やした。相談体制

の強化については、常に検討していく必要があるが、まずは、教員を含めスクールカウンセラー、心の教室相談員など必要に応じて活用していきたい。

Q 適応指導教室の現状と面接時に受容・傾聴できるカウンセラー配置について伺う。

A 昨年度の登録児童生徒数は、10名で不登校児童生徒数の7%である。現時点ではカウンセラーの配置はせず、教員OBの指導員等が、児童生徒の居場所となるよう寄り添った面接を心掛けていく。

Q 小学校スクールカウンセラーは、小学校3校で1名、1校当たりになると月に1回の勤務となり、予約は3か月先と、相談が追い付いていない現状である。増員の考えについて伺う。

A スクールカウンセラーの配

置については、県から派遣されており県へ拡充を働きかけているが、配置増には至っていない。

A 管理指導主事 市の業務でのカウンセラーとなると、心のアドバイザーを活用するため全体で調整することが必要となる。

Q 校内適応指導教室は、不登校、若しくは不登校傾向にある子どもが安心して登校できる場として、また、学校に登校することはできるものの教室に入ることが困難な児童生徒の居場所となる。校内適応指導教室の設置について伺う。

A 学校の実情に応じて設置していくことになるが、教員の配置も必要となることから、できる限りの支援をしていきたい。

その他の質問項目

○給水装置工事に伴う加入負担金について



日比野和雄 議員



◀QRコード  
(動画配信)

### Q 尾張旭市の無形民俗文化財の現在の状況について伺う

計4つの無形民俗文化財があり、各保存会により伝承と後継者育成に努めている

Q 無形民俗文化財への取組について伺う。

A 教育部長 各保存会には、技能の継承等に努めていただいている。若い世代の参加を促す取組として、保存会の活動に参加した中学生以上の学生の方などに対して、教育長からの感謝のメッセージを添えて図書カードを配付している。今年度は小

学生以下の方にも対象を広げようと考えている。

Q 無形民俗文化財の認知度向上の推進について伺う。

A 子供の頃から地域の文化財として親しみを覚えてもらうなど、特に若い世代に対して働きかけていくことが大切である。子供や保護者が興味を持ち、参加したいと思えるような環境づくりに努め認知度向上を図る。

### Q 住宅地域での交通安全について伺う

危険箇所への対策では事故防止の注意喚起の看板や道路標識、カーブミラーなどの設置を行っている

Q 自転車利用者への対策について伺う。

A 市民生活部長 道路上に路面ステッカーを貼付し注意を促

すなどの対策を行っている。

Q その他の自転車に対する交通安全の取組について伺う。

A 市民活動課長 各小学校で3年生を対象に、体験型の自転車教室の開催を計画している。ヘルメットの着用を推進するため県と協調して、今年4月から自転車乗車用のヘルメットの購入補助を行っている。5月末までに107件申請があった。

Q 住宅地域での今後の取組について伺う。

A 市民生活部長 住宅地域での交通安全対策として、ゾーン30による整備を進めていく。また、交通指導員が普段から危険箇所の把握に努めている。

## 一般質問



さかえ章演 議員



◀QRコード  
(動画配信)

**Q** 「持続可能な近未来都市」実現に向けた野心的な事業提案について伺う

**A** 提案の「尾張旭版ウーブンシティ」は壮大で夢のある構想。様々な関係者との調整が必要と感じる

**Q** トヨタの実験未来都市「ウーブンシティ」に対する所見について伺う。

**A** 企画部長 水素エネルギーの実用始め、自動運転や人工知能など先端技術を集結した「実証都市」で、今後の社会システムを開くような、巨大プロジェクトである。ここで開発・蓄積されたノウハウによって、新し

い価値観や都市像が創り出され、今後の豊かな暮らしに大きく貢献するものと期待している。

**Q** 提案の近未来都市「尾張旭版ウーブンシティ」を「アフターコロナの持続可能な新たなまちづくり」や「ポスト土地区画整理事業」に位置付け、平子町北地内市有地15haを核に、その隣接地を所有する名古屋市・愛知県や大学・旭ろうさい病院と連携した近未来都市実現を目指すことを提案する。まずは、先進事例を調査研究してはどうか伺う。

**A** トヨタ「ウーブンシティ」の取組では、通信技術や交通手段といった社会システムに関する最先端の技術が数多く試されるので、今後も引き続き注視していきたい。

その他の質問項目

- 「アフターコロナの新たなまちづくり」について
- ・ コロナ禍で表面化した行政課題とその克服について
- ・ 人口減少・超少子高齢社会に対応できる持続可能なまちづくりについて

トヨタの実験未来都市「ウーブンシティ」



静岡県裾野市 (トヨタ自動車東富士工場跡地) 70.8万㎡



出典：トヨタ自動車(株)公式企業サイト



山下 幹雄 議員



◀QRコード  
(動画配信)

**Q** 新型コロナワクチン接種の予約方法は

**A** 電話、ネット予約に追加して保健福祉センターでの予約の代行窓口を一時的に設置した

**Q** 予約スタート時は、電話が繋がらないなど混乱があったと聞く。予約ができない方が一人でもいないようにと考え、担当課と話をしていたところ、予約窓口が設置されたわけだが、状況はどうか。

**A** ワクチン接種推進室長 昨日より保健福祉センターにて予約の代行窓口を開設しており、一日で10人の市民が来庁した。

**Q** 人員の整備や期間の延長についてはどうか。

**A** 予約状況等に応じて、検討していく必要がある。

**Q** 三郷駅周辺まちづくり事業の進み具合は

**A** 「駅の南側」は地権者が組合を立ち上げ自らで事業を実施する

**Q** 莫大な予算が想定されるが負担割合はどうか。

**A** 都市整備部長 この事業に係る費用には、組合が保留床を処分した保留床処分金を充てるほか、都市再開発法に基づいた公共性の高い事業であることから、国・県・市から事業費の一部として、それぞれの割合で補助金が交付される。

**Q** 市独自の補助金支出の予定はあるか。

**A** 三郷駅周辺整備推進室長 現時点では、予定されていない。

**Q** 公表されていないマイクロ水力発電システム導入事業の説明を求める

**A** 本市の水道施設の一部を使い水力発電事業を開始する

**Q** 公表には至っていないが、この事業が進捗しており令和4年度からはエネルギーとして供給を開始する運びと聞かすが、その経緯は。

**A** 都市整備部長 再生可能エネルギーの活用に取り組んでいる団体から事業の提案があり、検討した結果、本市の水道施設において実施が可能と判断した。

**Q** 事業者の選定は、紹介団体からの推薦か、安全性は大丈夫か。

**A** 上水道課長 他の自治体での実績や安全性を確認して選定した。